

まず・・・住宅火災はどのくらい起きているのか？
近年減少傾向にあるが、毎年全国で約900人が亡くなっている。

発生状況ランキング

1位・・・**たばこ**

⇒寝たばこなど寝室で起こる

2位・・・**放火**

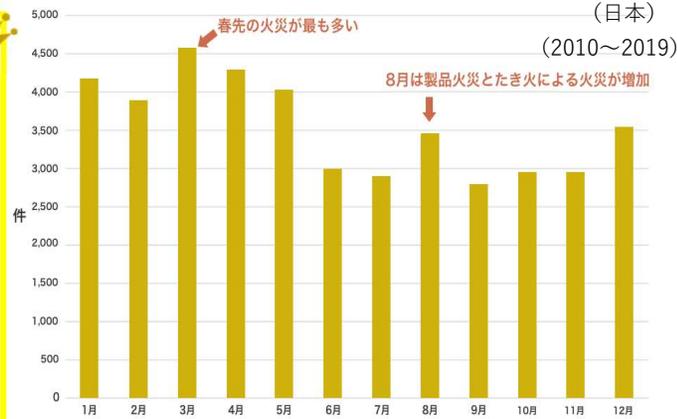
⇒放火されやすい家がある

<放火されやすい家とは>

- ・ゴミが放置
- ・人目につきにくい
- ・木造建築の住宅

3位・・・**電気火災**

⇒コンセントを挿したままにすることで起こる



実は・・・冬が多いと思いきや
春の方が起こりやすい！！
⇒空気が乾燥するため

～火災が起きたら～
大声で周りに知らせる



消防署に通報する



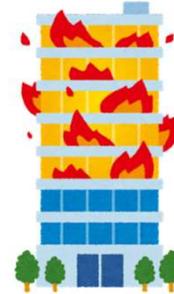
初期消火をする

(1～2分を目安に)

(火が天井に昇る前にやめる)



避難する



<初期消火>

- ・消火器を使うか、水で濡らしたバスタオルで覆い消火する。
- ・電気製品・油や石油ストーブから出火した場合は水をかけてはいけない。

<消火器の使い方>

安全ピンを抜きホースを外し火元に向けて構える。最後にレバーを強く握る。



火災で一番怖いのは炎ではなく“煙”!!
一酸化炭素中毒、窒息、呼吸困難になる

一酸化炭素は体内に酸素を運ぶヘモグロビンと結合して、体内に酸素が行き渡らなくする。**無色無臭で感知しにくい。**
煙は一瞬で上に広がるため、姿勢を低くし、浅めの呼吸をしながらタオルや服などを口と鼻に当てて移動するのが有効。
(京都市消防局「火災から命を守る避難の指針」より)



心がけるポイント

- ①冷静さを保つ
- ②エレベーターには乗らない
- ③煙を吸わない